



# 和(輪)のまちだより

発行 2024年(令和6年)1月1日  
 発行責任者 長野市権堂町2201-20 権堂イーストプラザ ND1階  
 第四地区住民自治協議会会長  
 電話 026-262-1365  
 印刷 有限会社 長野プリントサービス

2023.11.1 現在 第四地区現況 ( )前年比  
 世帯数/2,375戸(101.9%) ±0  
 人口/2,713人(102.5%) +50人  
 世帯数/令和5年度世帯数調査による  
 人口/長野市企画課統計資料による

☆第四地区は「諏訪町」「西後町」「県町」「南県町」「妻科」「新田町」の6町で構成されています☆

第四地区住民自治協議会会長 横田悦二郎より新年のご挨拶を申し上げます。

新年明けましておめでとーうございます。  
 第四地区は人口減少に悩む地域とは違い、隣接する権堂町や北石堂町等に次々と大規模マンションが新築され、中心市街地への人口集中が進み、いよいよ「コンパクトシティ化」が具体化しつつあります。第四地区は20年以上前から人口集中が進み、正に長野市における次世代型都市生活の先駆者とも言える地域になって参りました。加えて懸案事項であったもんぜんぶら座を含めた新田町交差点地域の再開発も今年から具体化策定が始まる等、第四地区は益々『中心街の中心』の位置付けが確固たるものになります。  
 確かに新しく住民になられる方が増えることは歓迎すべきことです。しかしそこには先祖代々住み続けている人や100年以上続く老舗商店を営んでいる方々も生活しています。又当地区は、県庁等公官庁や企業の本社や大型老舗ホテル等も存在し、都市機能の全てを備えている日本でも稀な地域でもあります。この様な地域では、総務省が求める『多種多様な人達が互いの文化的な違いを認め合い、対等な関係を築こう』としながら、地域社会の構成員として共に生きていく多文化共生の推進が大切になります。第四地区が育んできた伝統ある行事や祭りの継承ばかりでなく、新しい考え方で次の時代を作ろうとしている若者達の活動を認め、支えていくことが肝要です。  
 今第四地区は長野市や国が目指す地方の次世代モデル地区として注目されています。そのため、今年も、「地域住民同士の繋がりを大切に」「住民同士の深い『思いやり精神』を基にした明るい第四地区を目指して活動して参ります。本年も住民の皆さまのご協力をお願い申し上げます。

明けて  
おめでとーうございます

今年もよろしく  
お願い致します



# 復活した事業 続々

**いきいき交流会** 第四地区の75歳以上の方の10人に1人以上の12%の方が参加

去る10月18日(水)、コロナ禍のために開催できなかった「いきいき交流会」が犀北館ホテルで4年振りに開催されました。この「いきいき交流会」は地区内にお住いの75歳以上の方を対象に開かれたもので、会場は、約90名の参加者で大賑わいでした。今年のアトラクションは「カントウータ」の5人の方が南米音楽を主として演奏して頂き、皆さんも一緒に童謡を歌い、楽しい時間を過ごしました。



写真上／演奏するカントウータの皆さん(奥)と熱心に聞き入る参加者

演奏の後は犀北館自慢の昼食を頂き、しばらく談笑してからのお帰りの際には、卯月堂のそばの華をお土産として差し上げ、参加した方々は満足の表情でした。この会は第四地区にお住いの75歳以上の方の8.3人に一人の12%もの方に参加して頂き、来年の再会を約束して帰路につきました。

10月21日(土)、これまた4年振りに「第四地区合同防災訓練」を行いました。

下は3歳のお子さんから上は80超のご高齢の方まで、約80名という多くの方の参加で、消火器、AEDの取り扱い訓練と、避難所で活躍する段ボールベッドと簡易トイレの組み立て方の訓練の後、防災備蓄倉庫に備蓄されている物品の説明を聞きました。

この訓練は年に1回以上開催しなければならないのですが、過去3年間はコロナ禍のために開催できませんでした。4年振りの開催となった今回、参加者が少ないのでは、という危惧もありましたが、大勢の方の参加があり、住民の皆さまの防災への関心の高さが窺われた一日となりました。



## 第四地区合同防災訓練



写真上・下／真剣な表情で消火器を扱う参加者

写真左／参加者が組み立てた段ボールベッドの寝心地を試すお子さん



## 第四地区の二名 長野市から地域功労表彰を受ける

去る10月23日、長年にわたって地域自治に功労があった92人と2団体が選出され、荻原市長から表彰状を手渡されました。

第四地区からは元南県町区長の仁科秀雄さんと元諏訪町区長の酒井勝司さんの2名の方が地域功労表彰を受けました。両氏とも10年以上にわたって第四地区住民自治協議会に功労があったことが認められたものです。



仁科秀雄さん



酒井勝司さん

### 評議委員を対象に 人権研修会開催

去る12月13日

(水)、犀北館ホテルで、第四地区住自協の評議委員と民生児童委員を対象に人権研修会を開催しました。

この人権研修は年間1回以上の開催が必須とされているため、当会では住民の皆さまと接する機会が多い評議委員と民生児童委員に絞って研修を行いました。

人権問題を正面からとらえた内容のDVDを鑑賞し、鑑賞後は活発にその内容について4グループに分かれて話し合いが行われました。

人権問題と言っても、その内容は多岐にわたっており、昨今だ

と従来の男女の観念を越えた性差に捉われないう社会を構築しようというジェンダーレスという動きも大きな人権問題とされています。

出席者は身近な人権問題から世界的な動きでもあるジェンダーレスなどを正確に知り、それらに前向きに向かい合っ、地域自治に取り組まなければならないと意を強くしました。



DVDを熱心に鑑賞する参加者

## 女性の人権問題(第四地区は女性の参画率20%)

現代の日本の人権課題は「女性」、「子ども」、「高齢者」、「障がい者」、「同和問題」など、様々な分野に及びます。もともと人権という概念はるか昔にヨーロッパで生まれたものだと言われています。

この中で、今回は特に「女性の人権」について考えてみます。日本では憲法に男女平等が明記されているうえ、法制上でも男女雇用機会均等法や男女共同参画社会基本法等が制定されているにも関わらず、いまだに男女差別の悪癖がそこそこに見受けられるのが現状です。

さて、第四地区住民自治協議会には6町が所属し、30名の評議委員の方々が住民自治に関わって頂いています。毎年、長野市では市内全32地区の住民自治協議会の女性参画率を調査し、公表しています。令和5年度の調査結果では、第四地区は女性の参画者数は30名中6名で、率にすると20%でした。この数字は長野市32地区中第6位で、全地区平均の16.6%を僅かに上回るものでした。

この結果を当地区は女性参画がある程度進んでいるとみることもできますが、男女半々の50%には遠く及んでいません。これには色々な意見もあるところですが、自治に限らず、上に立つ職制には男性が立つものだという昔からの悪慣行から多くの方が脱し切れていない結果と言わざるを得ません。第四地区の6町の区長は明治以降延べ200名を超えますが、残念ながらその中に1人も女性は名を連ねていません。

男女とも互いにその人権を尊重し、男女の隔たりなく過ごせる世の中にするために、女性も『決定や責任は男性』という間違った概念から脱皮して、男性同様、或いは男性に増して、住民自治をはじめとした任務を担ってゆくのだという気概を持ち、男性もそれを積極的に支持し、共に活動していくことが男女平等の第一歩になり、ひいては全ての人権問題の突破口になるはずです。



今年の干支の辰年にちなんで

# 第四地区に“龍宮淵”

## と呼ばれる場所があること ご存知ですか？



写真上／赤丸で囲ったところが「龍宮淵」と言われている場所。  
写真下／龍宮淵の対岸の鳥居の奥にひっそりとたたずむ「水神社」。



第四地区の西端を流れる裾花川の里島発電所の200m程下流で大きく左に湾曲している所があります。今でこそ旭山から崩れ落ちた岩石が堆積してその面影は薄くなつてしまいましたが、かつては湾曲しているところで川が山をえぐり、大きく淀んで淵を造っていました。

ここは古くから『龍宮淵』と呼ばれている場所です。今ではそう呼ぶ人も少なくなりましたが、戦前は長商の水泳部の生徒が時々水泳の練習をしていた所とも伝わっています。

龍宮淵と呼ばれる所は全国に

数多くあり、その多くは激流が渦巻き、淵の底の先はよくご存じのあの龍宮につながっているとされています。

ここ第四地区の龍宮淵には「美しいお姫様が住んでいて、城山(葛山)へお嫁に行った」、「大きな蜘蛛と龍神がこの場所で出会い、戦いの末、龍神が勝った」などの話しが伝わっています。ここには淵と呼ばれる場所が2箇所あり、上流の淵は「吉女が淵」、通称「和田」と呼ばれています。この和田は干ばつがひどかった江戸時代のあるとき、西和田の農民がお地藏さまを担いで来てお地藏さまに水

を浴びせて雨乞いをした場所だといところから、和田と呼ばれ、その名残で祠が淵の岩の上に祀られていましたが、今は対岸に水神社が静かに佇んでいます。

第四地区にこのような場所があることを誇りに思い、いつまでも語り継いでいってほしい場所のひとつとしてご紹介しました。

今後、このような第四地区の知る人ぞ知る場所等を取り上げてご紹介したいと考えています。

左に龍宮淵を示す簡単な地図を掲載しました。暖かくなったら散歩がてらに散策してみたいかがですか？

## 60歳以上限定プラン誕生！

健康リゾート&フィットネス  
スパ・サルーテ

何歳からでも、運動習慣を身につけて健康なカラダを手に入れられる！

平日限定

# チャレンジシニア 好評受付中！

月額8,800円～ プラン詳細はお問い合わせください！

トレーニング後は  
天然温泉で  
リフレッシュ



お問い合わせはコチラまで ☎ 026-237-4127 【電話受付】 平日 11:00~17:00